



# 光 和

6月号  
練馬区立光和小学校  
令和6年5月30日

光和小  
携帯サイト



挨拶は心と心をつなぐ

校長 矢島 直行

色鮮やかな紫陽花が咲く季節となりました。間もなく梅雨に入りますが、晴れた日の日差しは強く、季節は夏へと向かっています。暑い日が増えてきますので、これまでよりもこまめに水分補給を心がけるなど熱中症対策に努め、子供たちの健康に十分気を付けてまいります。

さて、入学、進級して2か月がたち、子供たちはすっかり学校生活に慣れました。4月の入学式や全校朝会で子供たちに3つの大切なことを話しました。

「元気よく挨拶をする」 「話をよく聞く」 「友達と仲良くする」

特に挨拶については何回か全校朝会でも話をしています。

挨拶は、「心と心をつなぐ架け橋」「心の扉を開く鍵」などと言われていています。私は毎朝、交差点で旗振りをしています。元気に「おはようございます」と挨拶をしてくれる子供たちがいて、進んで元気な挨拶をされると嬉しくなります。また、廊下ですれ違うときも、礼儀正しくきちんと立ち止まって挨拶をしてくれる子供たちもいます。挨拶がしっかりできるのは、家庭での習慣が身に付いているからだと思えます。

「おはようございます」という挨拶は、歌舞伎から始まったと言われていています。歌舞伎の役者は、化粧や衣装の準備に時間がかかるので、芝居が始まる時刻より、かなり早めに芝居小屋にやってきました。そのとき、芝居小屋で働いている裏方の人たちが、役者に対していつも「お早うございますね」と声をかけていたのです。これは、「本番が始まるまで、まだ時間があるのに、いつも早く来て準備して大変ですね。御苦労様です。」という意味がありました。「お早うございますね」という言葉には、相手を大切に「思いやり」の気持ちが含まれた言葉かけでした。「お早うございますね」が、「おはようございます」に変化したと言われていています。「おはようございます」という挨拶は、相手のことを大切に思う気持ちが込められています。そのためには、立ち止まったり、相手の目をきちんと見たりして、気持ちのよい挨拶をすることが大切です。

挨拶は、「おはようございます」だけではありません。「失礼します」「いただきます」「ありがとうございます」などがあります。挨拶は、人と人が気持ちよく生活するために必要な言葉であり、心と心をつなぐ大切な言葉なのです。光和小学校みんなが進んで挨拶をすることができ、温かい雰囲気包まれた学校にしたいです。

さて、6月から水泳指導が始まります。水泳は素晴らしいスポーツですが、油断をすると大きな事故につながります。事故を起こさないために約束があります。水泳指導が始まったときはしっかり約束を守りますが、しばらくすると慣れがでてきます。時にはこれぐらい大丈夫という気持ちが油断となり、事故につながる可能性があります。常に油断することなく、安全に気を付けながら水泳指導に取り組み、水泳の目標が達成できるように努めてまいります。